

# 製品安全データシート

1/3

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : CL103 シリーズ トナー (マゼンタ)

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進部 サポートグループ

電話番号 : 045-479-0140 FAX 番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR7-M033 (全 3 頁)

作成・改定 : 2010.04.01

## 2. 物質の特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分 : 下表に示す通りである

| 化学名              | 含有量 (重量%)        | 官報公示整理番号 | CAS Registry No. |
|------------------|------------------|----------|------------------|
| ポリエステル樹脂         | 70-80            | —        | —                |
| フェライト粉末<br>(酸化鉄) | 20-30<br>(10-20) | 1-357    | 1309-37-1        |
| (酸化亜鉛)           | (1-10)           | 1-561    | 1314-13-2        |
| (酸化銅)            | (1-10)           | 1-297    | 1317-38-0        |
| 赤色顔料             | < 5              | —        | —                |
| 二酸化チタン           | < 1              | —        | —                |
| 無定形シリカ           | < 1              | —        | —                |

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

## 3. 危険有害性の分類

分類の名称

: 分類基準に該当しない。

危険性

: 粉体状の多くの有機系物質と同様に、空気中に分散された場合、着火源により爆発することがある。

有害性

: 特になし。

環境影響

: 特になし。

## 4. 応急処置

眼に入った場合

: 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

: 石けんを使って水でよく洗い流す。

吸入した場合

: 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。

飲み込んだ場合

: 水でよく口の中をすすぐ。多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火方法

: 供給源を遮断し、消火剤を使用して消火する。

消火剤

: 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。

ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。

## 6. 漏出時の措置

周囲に火種がないことを確認する。

少量の場合ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。

大量の場合は、保護具（防塵マスク、手袋、ゴーグル）を着用し、空容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：火中に絶対に投じない。カートリッジを壊したり分解したりしない。

保管：直射日光を避け、乾燥した換気の良いところに、低温で保管する。  
子供の手の届くところに保管しない。

## 8. 暴露防止措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会（2001年度版） 第3種粉塵 8 mg/m<sup>3</sup>（総粉塵）  
2 mg/m<sup>3</sup>（吸入性粉塵）  
ACGIH（2001年度版） 粒子状物質 10 mg/m<sup>3</sup>（総粉塵）  
3 mg/m<sup>3</sup>（吸入性粉塵）

設備対策：当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
大量に取り扱う場合は、局所排気装置を設置してください。

保護具：当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
大量に取り扱う場合は、防塵マスク、ゴーグル、及び手袋を着用すること。

## 9. 物理／化学的性質

外観・臭い：赤色粉体

沸点：測定不可能。 蒸気圧：測定不可能。 揮発性：測定不可能。

軟化温度：データなし。 比重：データなし。 初留点：測定不可能。

水溶解度：溶けない。 その他：特になし。

## 10. 危険性情報（安定性・反応性）

引火点：測定不可能。 発火点：測定不可能。 爆発限界：測定不可能。

可燃性：該当せず。

発火性（自然発火性、水との反応性）：なし。

酸化性：なし。

自己反応性・爆発性：なし。

粉塵爆発性：粉体状の多くの有機系物質と同様に、空気中に分散された場合、着火源により爆発することがある。

安定性・反応性：安定。

その他：特になし。

## 11. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：なし。<sup>1)</sup>

刺激性（皮膚、眼）：皮膚→刺激性なし。<sup>1)</sup> 眼球→刺激性なし。<sup>1)</sup>

感作性：皮膚→感作性なし。<sup>1)</sup>

反復傷害パッチ（人間）：刺激性または感作性の証拠なし。<sup>1)</sup>

急性毒性（50%致死量）：経口→LD50（ラット）：> 5.0 g/kg<sup>1)</sup>（実質上無毒である。）

：経皮→LD50（ラビット）：> 5.0 g/kg<sup>1)</sup>（実質上無毒である。）

：吸入→LC50（ラット）：> 5.0 mg/L/4時間暴露<sup>1)</sup>（実質上無毒である。）

慢性毒性：ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量（4 mg/m<sup>3</sup>）もしくは高用量（16 mg/m<sup>3</sup>）の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量（1 mg/m<sup>3</sup>）の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1日当たり1 mg/m<sup>3</sup>を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。<sup>1)</sup>

癌原性 : 発がん物質<sup>文献1</sup>を含有せず。  
変異原性（微生物、染色体異常）：Ames 試験 陰性<sup>1)</sup>  
生殖毒性および発生毒性：生殖毒性および発生毒性物質<sup>文献2</sup>を含有せず。  
その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：特になし。

1) 類似物の試験結果からの予測。

## 12. 環境影響情報

分解性 : データなし。  
蓄積性 : データなし。  
急性毒性：魚毒性：96時間 LC50(ニジマス) : >500mg/L<sup>1)</sup> (毒性は低いと判断される。)  
ミジンコ類急性遊泳阻害試験 48時間 EC50(オオミジンコ) : >100mg/L<sup>1)</sup> (毒性は低いと判断される。)  
その他 : 特になし。

1) 類似物の試験結果からの予測。

## 13. 廃棄上の注意

適切な処理が必要なので、必ず当社係員に渡すこと。

## 14. 輸送上の注意

特になし。

## 15. 適用法令

労安法第五七条の二通知対象物 酸化鉄（フェライト粉末成分）、酸化亜鉛（フェライト粉末成分）、  
銅化合物（フェライト粉末成分：酸化銅）  
その他適用法令なし。（対象法令：PRTR法、毒劇法、化審法、消防法）

## 16. その他

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

## 引用文献

- 文献1 : ◆ IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans (WHO. IARC : 国際癌研究機関)  
◆ National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP : 米国・国家毒性プログラム)  
◆ TLVs and BEIs (ACGIH : 米国・政府産業衛生専門家会議)  
◆ 危険な物質の分類・包装・表示に関する法律、条令及び行政規定の近似化に関する理事会指令 67/548/EEC 付属書 I (EU)  
◆ 日本産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- 文献2 : ◆ 危険な物質の分類・包装・表示に関する法律、条令及び行政規定の近似化に関する理事会指令 67/548/EEC 付属書 I (EU)